

2023年9月28日

日清紡健康保険組合

令和4年（2022）年度決算のお知らせ

日清紡健康保険組合の令和4（2022）年度の決算が第180回組合会において可決承認されましたのでその概要をお知らせします。

当健康保険組合の令和4（2022）年度の決算は、収入13億8,418万円に対し、支出12億3,179万円となり、経常収支では7,258万円の赤字となりました。

健保財政面では、新型コロナウイルス感染症対策で下がっていた保険料収入が少しずつコロナ前に戻りかけていたところでしたが、皆様の医療費や薬剤費に使われる保険給付費、高齢者医療への納付金などの義務的経費が増加してきたことが要因です。

支出面では新型コロナウイルス感染症の法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ5類に引き上げられ、社会・経済活動が正常化に向かっているところで、受診機会も増え、保険給付費がコロナ禍前に戻ってきています。

また、団塊の世代の後期高齢者への移行も進んでおり、支援金・納付金も増加しています。

このような中、今国会では、少子化対策を全世代で支える仕組みや現役世代の負担増を抑制する施策などを盛り込んだ、健康保険法の改正案が成立する見通しとなりました。今後の日本の社会保障制度を方向付ける有意義な改正と評価できる一方で、前期高齢者納付金について報酬水準に応じた調整を部分的に導入するなど、健保組合の中には負担増となりかねない施策もあり今後も同行が注視されます。

来年度からは、いよいよ第3期データヘルス計画ならびに第4期特定健診・特定保健指導が開始となります。これに向け、今年度はこれまでの成果を振り返り、新しい目標を設定する重要な年度となります。国民皆保険の中核を担う保険者として、引き続き皆様の健康寿命の延伸につながる取り組みを進めてまいります。

また、来年秋からは、従来の健康保険証を廃止しマイナンバーカードと一体化させる方針が政府よりしめされています。医療分野のICT化を進めるうえで、鍵となる施策と考えられますので、スムーズな移行と皆様の利便性の向上のために、保険者として協力してまいります。

当健保組合は、今後も事業主との連携によるコラボヘルスや、社会の変化に対応した効果的・効率的な保健事業の推進を通して、皆様の健康増進や疾病予防へまい進してまいります。皆様におかれましても、健診や特定保健指導などの積極的な活用により、健康管理に取り組んでいただくとともに、引き続き適正受診を心がけ、医療費節減にご協力いただきたくお願い致します。

(1) 令和4（2022）年度収入支出決算概要

① 《健康保険分》

(単位：千円)

収入	科目	予算額
	保険料	1,141,506
国庫負担金収入	311	
調整保険料	17,177	
繰越金	186,291	
国庫補助金収入	28,617	
財政調整事業交付金	9,701	
雑収入	577	
合計	1,384,180	

支出	科目	予算額
	事務所費	6,374
法定給付費	551,433	
納付金	609,905	
保健事業費	46,259	
還付金	0	
財政調整事業拠出金	17,124	
連合会費	533	
雑支出	168	
合計	1,231,796	
決算残金	152,384	

経常収入合計	1,142,084
経常収支差引額	▲72,589

経常支出合計	1,214,673
--------	-----------

② 《介護保険分》

(単位：千円)

収入	科目	予算額
	介護保険収入	164,917
繰越金	6,491	
雑収入	1	
合計	171,409	

支出	科目	予算額
	介護納付金	166,628
合計	166,628	
決算残金	4,781	

(2) 健康保険組合の現況（令和5年3月末現在）

被保険者数	合計	2,124人	男性	1,681人	女性	443人
平均年齢	合計	45.90歳	男性	46.83歳	女性	42.37歳
平均標準報酬月額	合計	391,296円	男性	424,863円	女性	260,550円
総標準賞与額	合計	3,277,927千円				
被扶養者数	合計	1,831人				
扶養率		0.88				
前期高齢者加入率		1.000698				
※健康保険料率	1000分の88(事業主	1000分の44、被保険者	1000分の44)			
※介護保険料率	1000分の16(事業主	1000分の8、被保険者	1000分の8)			

以上